



平成27年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年9月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社くらコーポレーション

コード番号 2695 URL <http://www.kura-corpo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長

(氏名) 津田 京一

TEL 072-368-6211

四半期報告書提出予定日 平成27年9月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年10月期第3四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第3四半期	77,366	7.3	4,335	8.3	4,798	12.7	3,014	21.3
26年10月期第3四半期	72,097	10.4	4,004	15.2	4,256	10.8	2,484	14.8

(注) 包括利益 27年10月期第3四半期 3,147百万円 (25.7%) 26年10月期第3四半期 2,505百万円 (12.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第3四半期	152.66	—
26年10月期第3四半期	120.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年10月期第3四半期	40,601	25,204	62.1
26年10月期	38,139	22,293	58.5

(参考) 自己資本 27年10月期第3四半期 25,204百万円 26年10月期 22,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年10月期	—	0.00	—	—	—
27年10月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,914	7.2	5,320	10.5	5,775	11.6	3,598	18.4	182.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年10月期3Q	20,699,800 株	26年10月期	20,699,800 株
② 期末自己株式数	27年10月期3Q	956,720 株	26年10月期	956,720 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年10月期3Q	19,743,080 株	26年10月期3Q	20,699,680 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年11月1日から平成27年7月31日)におけるわが国経済は、個人消費に一部弱さがみられるものの、企業収益の増加や雇用情勢の改善など緩やかな回復基調が続きました。

外食産業におきましては、円安に伴う原材料価格の上昇や労働需給ひっ迫に伴う人件費の上昇など、各種コストの上昇により、引き続き厳しい環境が続いております。

当社グループは創業以来のコンセプトとして『四大添加物(化学調味料・人工甘味料・合成着色料・人工保存料)』を完全に排除した商品を開発・提供しております。寿司の基本調味料である酢・醤油・わさびに始まり、ラーメン、茶碗蒸し、デザートにいたる全ての商品から『四大添加物』を排除した商品を提供しております。お子様にも安心な自然でやさしい味わいと、多くのお客様からご好評をいただき、当社の考える本当の「安心・安全」な商品の提供にこだわりを持ち続けております。このような取り組みは大手回転寿司業界におきまして当社グループ独自の付加価値提案であり、『無添(むてん)くら寿司』のブランド構築に繋がるものと考えております。

当第3四半期連結累計期間におきましても、お客様の満足度を高めるべくさまざまな商品提案を行いました。

5月には、好評の「7種の魚介だれ『すしやのうな井』(税抜580円)」、うなぎを2枚のせた「すしやの特上うな井(税抜980円)」を昨年と同じ価格で販売し、ネット通販での「うなぎの蒲焼き」の売り上げも含み、「うなぎ」販売額が過去最高となりました。

また、商品開発におきましても「その価格で最高の味を実現する」考えのもと、年間1,000種類以上の試作品を作成し、専門店に負けないメニューの開発に努めております。7月に発売いたしました「すしやのシャリカレー(税抜350円)」は酢めしとカレーの組み合わせという意外性や、脂肪分が少なくあっさりしているのにコクがある本格的な味などが評判を呼び、当社計画を上回るスタートを切っております。

販売促進面では、人気寿司ネタの「ふぐ」、「かに」、「熟成まぐろ」の極上ネタをご提供するフェアを毎月実施いたしました。5月の「極上ふぐフェア」におきましては、大手回転すしチェーンでは初めてとなる「てっさ(刺身)(税抜390円)」を発売し、お客様にご好評をいただきました。また、フェアに合わせて人気アニメ「ドラゴンボール」とタイアップし、「孫悟空フィギュア」などオリジナルグッズが当たるキャンペーンを実施いたしました。

日本国内の店舗開発につきましては、山形県に初出店したのをはじめ、西日本地区で9店舗、東日本地区で8店舗の計17店舗を新規出店し、移転により1店舗を閉鎖いたしました。

また、米国子会社「Kula Sushi USA, Inc.」におきましては、米国店舗で初めて「ビックらボン」や「水回収システム」などを装備した、米国8番目のサンディエゴ店をオープンいたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、全て直営で369店舗(「無添蔵」4店舗、米国8店舗、非連結子会社の台湾1店舗を含む)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は773億66百万円(前年同期比7.3%増)、営業利益43億35百万円(同8.3%増)、経常利益47億98百万円(同12.7%増)、四半期純利益は30億14百万円(同21.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、406億1百万円となり、前連結会計年度末と比較して24億61百万円の増加となりました。これは、主に流動資産のその他が3億97百万円、有形固定資産の建物とその他がそれぞれ8億90百万円と8億93百万円増加した一方で、無形固定資産が2億83百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して4億49百万円減少し、153億97百万円となりました。これは、主に買掛金が6億51百万円増加した一方で、未払法人税等が5億79百万円、流動負債のその他が4億81百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が27億77百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して29億11百万円増加し、252億4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間の実績を踏まえ、平成26年12月12日に公表いたしました通期連結業績予想を上方修正いたします。

平成27年10月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	100,335	4,883	5,247	3,147	159.40
今回修正予想(B)	103,914	5,320	5,775	3,598	182.29
増減額(B-A)	3,578	437	528	451	—
増減率(%)	3.6	9.0	10.1	14.4	—
(ご参考)前期実績 (平成26年10月期)	96,938	4,815	5,175	3,040	146.99

当第3四半期連結会計期間における売上高は、順次投入した新商品がお客様の支持を受けたことに加え、「お持ち帰りセット」の販売が伸びたことなどにより、既存店売上高は前年を上回って推移いたしました。

この結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益につきまして期初予想を上回る見込みとなりました。

また、既存店投資につきまして、引き続き最新型の省力・省エネ機器を積極的に導入し、コストの削減を図るとともに競争力を高め、キャッシュフローの改善、顧客満足度の向上に努めてまいります。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.64%から平成27年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については33.06%に、平成28年11月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、32.26%となります。

なお、当該変更が繰延税金資産及び法人税等調整額に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,168,447	7,463,692
原材料及び貯蔵品	638,957	692,125
その他	981,058	1,378,451
流動資産合計	8,788,463	9,534,269
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,014,207	12,905,077
その他(純額)	7,610,832	8,504,118
有形固定資産合計	19,625,040	21,409,196
無形固定資産	921,334	638,103
投資その他の資産		
長期貸付金	3,408,108	3,499,401
差入保証金	3,824,685	4,004,764
その他	1,572,079	1,515,844
投資その他の資産合計	8,804,873	9,020,011
固定資産合計	29,351,248	31,067,310
資産合計	38,139,711	40,601,579
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,750,590	4,401,802
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	3,313,555	3,600,740
未払法人税等	1,309,222	729,248
その他	3,044,545	2,562,698
流動負債合計	11,617,914	11,494,489
固定負債		
長期借入金	200,000	50,000
リース債務	2,544,262	2,283,181
資産除去債務	1,225,492	1,313,329
その他	258,616	256,084
固定負債合計	4,228,371	3,902,595
負債合計	15,846,285	15,397,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	20,233,092	23,010,197
自己株式	△2,353,421	△2,353,421
株主資本合計	22,219,385	24,996,489
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	74,041	208,004
その他の包括利益累計額合計	74,041	208,004
純資産合計	22,293,426	25,204,493
負債純資産合計	38,139,711	40,601,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)
売上高	72,097,938	77,366,836
売上原価	32,878,090	35,575,787
売上総利益	39,219,847	41,791,049
販売費及び一般管理費	35,215,092	37,455,505
営業利益	4,004,754	4,335,543
営業外収益		
受取利息	48,292	48,447
受取手数料	194,554	246,224
為替差益	13,904	140,282
物販収入	94,146	114,103
雑収入	27,198	32,664
営業外収益合計	378,097	581,722
営業外費用		
支払利息	53,692	42,960
物販原価	50,400	60,747
雑損失	22,426	15,527
営業外費用合計	126,519	119,236
経常利益	4,256,332	4,798,029
特別利益		
固定資産売却益	1,157	—
特別利益合計	1,157	—
特別損失		
固定資産除却損	13,363	7,184
店舗閉鎖損失	26,078	3,600
減損損失	31,381	—
特別損失合計	70,823	10,784
税金等調整前四半期純利益	4,186,666	4,787,245
法人税、住民税及び事業税	1,677,081	1,636,117
法人税等調整額	24,954	137,106
法人税等合計	1,702,035	1,773,224
少数株主損益調整前四半期純利益	2,484,631	3,014,021
四半期純利益	2,484,631	3,014,021

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,484,631	3,014,021
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	20,401	133,963
その他の包括利益合計	20,401	133,963
四半期包括利益	2,505,033	3,147,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,505,033	3,147,984
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。